

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	第4回入間市公共施設あり方検討委員会
開 催 日 時	平成 27年3月23日(月) 午後1時30分 開会・午後4時00分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 C棟5階 502会議室
議 長 氏 名	安登利幸 委員長
出席委員(者)氏名	入間市公共施設あり方検討委員会 委員 安登利幸 木内勝司 倉斗綾子 山岡靖義
欠席委員(者)氏名	平林佳代子
説明者の職氏名	企画部副参事(総合政策担当) 鳥山政之 企画課主幹 浅見泰志 企画課副主幹 増田暁伸
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 議題 (1)パブリックコメントの結果について (2)入間市公共施設最適化基本方針(成案)について 3 その他 4 閉会
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	1 第4回入間市公共施設あり方検討委員会 次第 2 入間市公共施設最適化基本方針(原案) 3 「入間市公共施設最適化基本方針(原案)」に対する市民意見 への対応について
事務局職員職氏名	企画部部长 西勝啓祐 企画部次長 加藤保夫 企画部副参事(総合政策担当) 鳥山政之 企画課主幹 浅見泰志 企画課副主幹 増田暁伸
会議録作成方法	要点筆記

会議録（２）

議事の概要（経過）・決定事項

1 開会

13:30

2 議題

(1) パブリックコメントの結果について

- パブリックコメントにかけた入間市公共施設最適化基本方針（原案）について
 - ・ 前回の会議でいただいた意見を素案に次のとおり反映し、パブリックコメントを実施した。
 - ・ すべての図表にタイトルを付けた。
 - ・ 意味が同じものについて、文言の統一（整備と再整備、効率的と効率のかつ戦略的に等）を行った。
 - ・ 基本方針については方針の項目数を3つ、推進方法については、方向性の項目数を2つに区分した。
 - ・ 入間市の考え方、特色を打ち出した方が良いということから、基本理念と3つの基本的方針を掲出し方向性を明確にした。また、「適財適所」という造語を使い印象付けている。
 - ・ 「推進方法」の文言を「～します。」と言い切りにした。
 - ・ 市民意見の反映方法に市民アンケートの実施を明記した。
 - ・ 図表、フロー図等をよりわかりやすく整理すべきという意見を頂いていたが、27年度に公共施設再整備計画（以下「再整備計画」という。）、公共施設維持管理計画（以下「維持管理計画」という。）を作成し、公共施設等総合管理計画としてまとめる際に、詳しく図表等を挿入する予定なので、その段階で意見を反映させたいと考えている。
- 入間市公共施設最適化基本方針（原案）に対する説明会の実施について
 - ・ 1月29日、2月3日に職員説明会（参加人数：管理職78名、一般職員67名）を実施した。
 - ・ 2月18日市議会議員22名に公共施設マネジメントの全体像と入間市最適化基本方針（以下「基本方針」という。）の考え方を説明した。
 - ・ 2月6日、7日にパブリックコメント開始に合わせ、市民説明会（参加人数：6日21名、7日22名）を実施した。
 - ・ 3月18日に福祉部の所管している審議会、民生委員等を対象とした説明会を実施した。
- パブリックコメントの実施結果について
 - ・ 2月6日～3月9日（32日間）実施した。
 - ・ パブリックコメント実施の結果、6名の方から20件の意見があった。
- パブリックコメント（意見）への対応について

議事の概要（経過）・決定事項

- ・説明会で頂いたご意見では「公共施設マネジメントに伴う財政計画を明らかにするべきではないか。」、「数値的な目標があった方がよいのではないか。」という質疑が多かった。財政計画は、総合計画の策定と合わせ別途作成を検討しており、数値目標については、27年度に策定する再整備計画で明記することを検討していると説明した。
- ・P4のフロー図にあるPDCAサイクルの「PDCA」の表記が分かりにくいという意見があったことから、フロー図から削除した。
- ・P6の「(2)対象施設の範囲」については、インフラを対象にしていなのかという意見があったため、インフラ施設も総量的に把握していくので分かりやすい表現にした。
- ・まちづくりのビジョンが欠けているという意見があったが、入間市総合計画や地方創生の総合戦略の中で明らかにしていくものと考えるので、ビジョン自体を基本方針の中に盛り込むことは行わないこととした。
- ・職員周知を徹底して欲しいという意見があったため、今後周知の機会を作り、意識向上を図っていく予定である。

(2) 入間市公共施設最適化基本方針（成案）について

○ 基本方針について

- ・パブリックコメントによる意見を受け、入間市公共施設最適化基本方針（原案）赤字部分を修正している。
- ・今回作成した基本方針の内容はこれでよいと思うが、「基本方針」部分については、主婦や一般市民にも見やすく、読みやすい体裁に整えてはどうか。
⇒市民向けのダイジェスト版の作成を検討したい。
- ・「方針」と「方策」の関係性が分かりにくいので、表記を工夫してはどうか。
- ・「基本理念」と「基本方針」、「方策」の位置づけを一覧表のようなものにする
と分かりやすい。
- ・市民から、厳しい意見がほとんどないので基本方針については同意を得られている
ものと理解できる。
- ・市民にPRする資料を今後作成するのであれば、方策より基本方針にウエイトを
置いて説明したほうがよいのではないか。
- ・基本方針の順番については、インパクトの大きいものから順番にしてはどうか。
- ・方針1は公共施設の見直し（あり方）についての事項であることから、タイトル
が内容に沿っていないのではないか。
- ・方策1の3点目は方策4に入れた方がよいのではないか。
- ・方策1の4点目は方策3に入れた方がよいのではないか。

議事の概要（経過）・決定事項

- ・方策2の2点目は、他の方策の内容と重複しているのでは不要ではないか。
 - ・方針2のタイトルは、ハード面のマネジメントに関する事項であるので、方針1「縮減」と「作らない」ということがメッセージとしてあるべきである。
 - ・方針3のカッコは、「柔軟かつ効率的な」とした方がわかりやすいのではないか。
 - ・方策9の下段にある文章「こうしたことに～検証していきます。」の段落は方策5に加えた方が妥当なのではないか。
 - ・方策12の都市基盤施設については、建築物に関する事項ではないので、この位置では唐突に感じる。方針2の最後の項目とした方がよいのではないか。
 - ・方策9に長寿命化についての項目があるが、長寿命化の目的は予算の平準化のための方策であって、整備費用のコストダウンが目的ではないことを明確化した方がよい。
 - ・方針1はあり方を見直すこと、方針2は具体的な維持の方法、方針3は効率的な管理・運用の方法で再整理してみてもどうか。
- 推進方法について
- ・方向性2で方法5から始まるのは違和感がある。付番について検討する必要がある。基本方針も含め、付番について再検討した方がよい。
 - ・方向性1のタイトルは「計画の推進」とするよりも「計画の策定」の方が妥当ではないか。
 - ・方法8 受益者負担についても「推進」とするのは、表現として厳しいのではないか。
 - ・公共施設等総合管理計画との関係性は説明されているか。
⇒基本方針の中では、明記されていない。一方、施設白書、基本方針、再整備計画、維持管理計画を合わせて公共施設等総合管理計画とする予定である。については、市長のあいさつのところで関係性を説明する予定である。
- 委員意見の反映
- ⇒本会議で提案のあった意見については、事務局で検討し成案に反映させていきたい。
- 3 その他
- 今後のスケジュールについて
- ・3月25日に開催する市内の公共施設マネジメント推進会議で最終案を承認してもらい、今年度中に策定する見込みである。
 - ・平成27年度は、この基本方針に基づき数値目標等をいれた計画（再整備計画・維持管理計画）を策定する予定である。なお、施設白書、基本方針、再整備計画、維持管理計画をまとめて、「公共施設等総合管理計画」としてまとめる。

議事の概要（経過）・決定事項

- ・平成28年度には、これらの計画に基づき、10年間の事業計画（具体的な施設ごとの計画）を検討し、29年度からスタートする総合計画に反映させていく。
- ・計画策定に向けては、市民説明会を積極的に行っていく。また、再整備計画、維持管理計画の公表に合わせ平成27年12月頃シンポジウムを開催したい。

4 閉会

16:00

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成27年4月15日

議長 の 署名

安登利幸